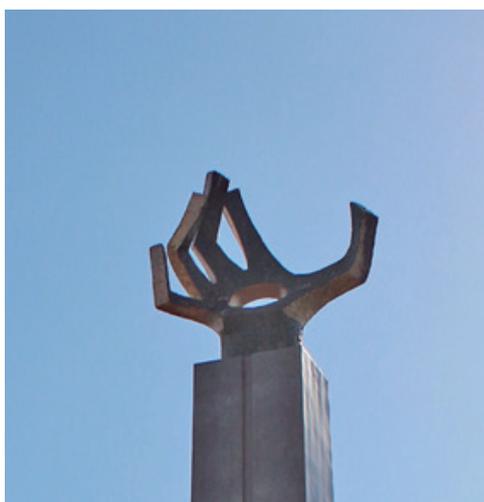


白糠町 学校施設等長寿命化計画

計画書の概要



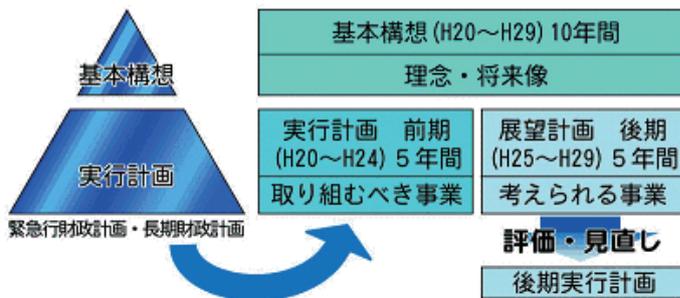
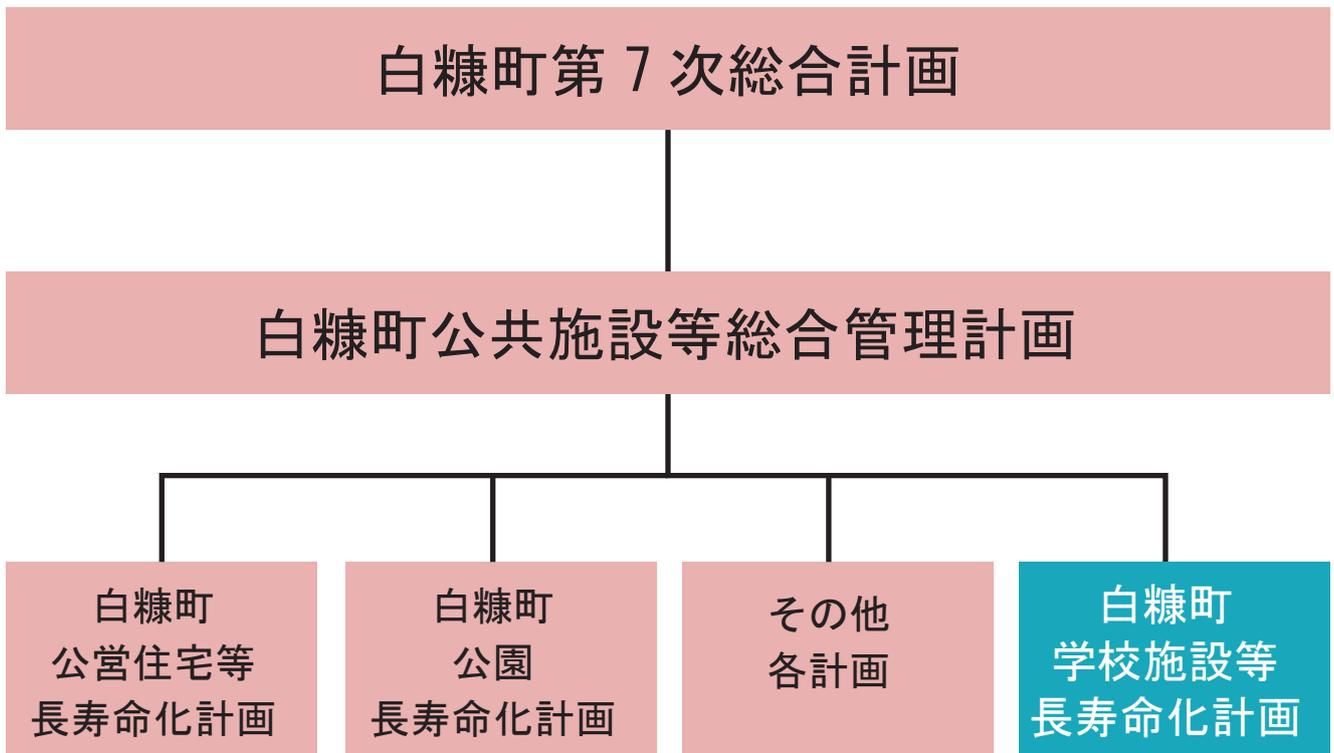
令和2年3月

白糠町教育委員会

計画策定の背景と目的

白糠町では「白糠町第7次総合計画」を踏まえて、平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本計画は、公共施設等総合管理計画につづく各種施設の個別計画として位置づけられるものであり、学校施設等に関わる上位計画、関連計画を踏まえ、必要な事項を取り入れ、整合を図りながら、施設の維持管理、更新のみならず、多様な機能や役割を充足することを目的として策定します。



「第7次白糠町総合計画」の策定



計画対象建物

対象施設は、教育委員会が所管する白糠町内の学校教育系施設 5 校（9 建物）と町民文化系施設 2 施設（2 建物）の合計 7 施設物（11 建物）とします。

対象建物の一覧

分類	施設番号	建物番号	施設名	延床面積	建築年度
学校教育系施設	1	1	白糠小学校（校舎）	5,177 ㎡	S60
		2	白糠小学校（屋体）	1,213 ㎡	S59
	2	3	茶路小中学校（校舎）	2,385 ㎡	H13
		4	茶路小中学校（屋体）	791 ㎡	H14
	3	5	白糠中学校（校舎）	4,844 ㎡	S63
		6	白糠中学校（屋体）	1,324 ㎡	S61
	4	7	庶路学園	9,140 ㎡	H29
	5	8	総合給食センター	1,339 ㎡	H11
		9	総合給食センター （車庫・倉庫）	189 ㎡	H11
町民文化系施設	6	10	社会福祉センター	2,012 ㎡	S44
	7	11	公民館	998 ㎡	S56



対象施設の位置



建物の状況

建物は、昭和50年代後半から60年代前半にかけて整備されたものが多く、築30年を経過した老朽化建物は6建物15,568㎡で全体の52.9%を占めています。また、旧耐震基準による建物は社会福祉センターと公民館の町民文化系施設2建物であり、学校教育系施設の9建物は全て新耐震基準となっています。



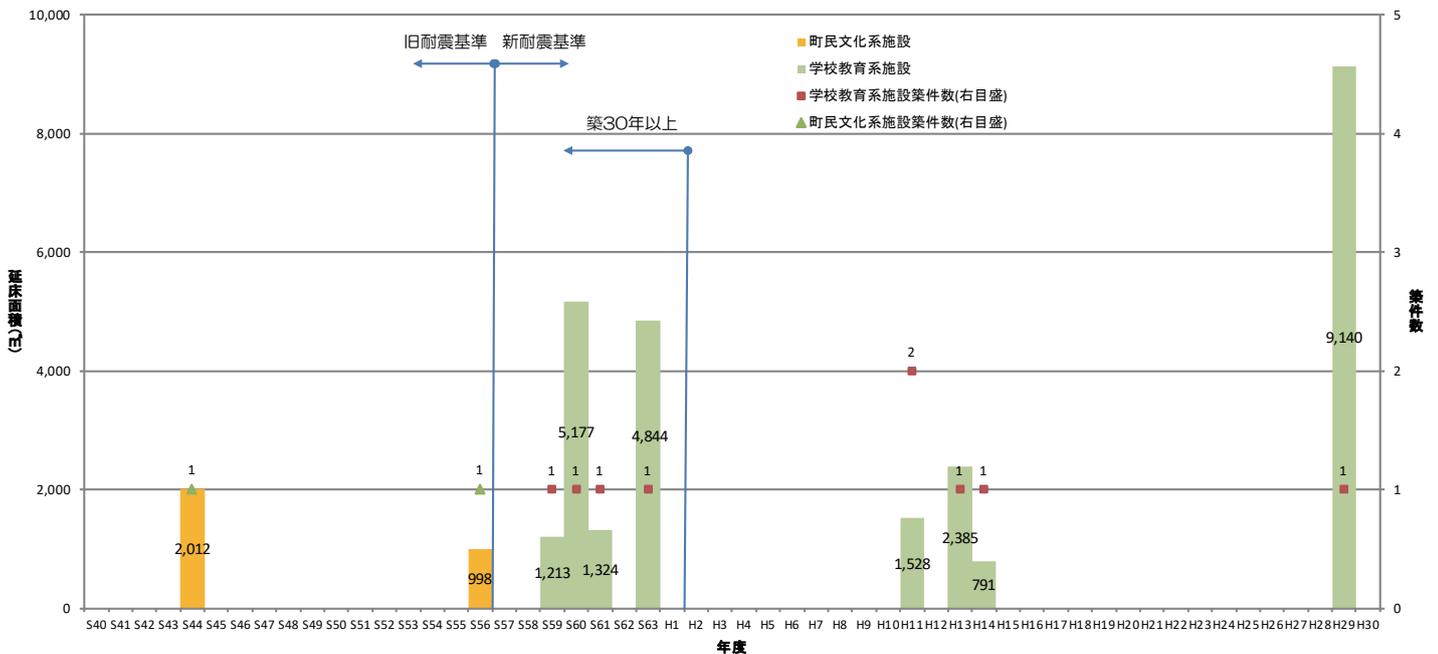
築年別建物数と延べ床面積

築年数	50年以上	40年以上	30年以上	20年以上	10年以上	10年未満	計
建物数	0	0	4	2	2	1	9
延床面積 (㎡)	2,012 (6.8%)	0 (0%)	13,556 (46.1%)	1,528 (5.2%)	3,176 (10.8%)	9,140 (31.1%)	29,412 (100%)

新旧耐震基準の対応

	建物数			延床面積(㎡)		
	学校教育系施設	町民文化系施設	合計	学校教育系施設	町民文化系施設	合計
旧耐震基準	0	2	2	0	3,010	3,010
新耐震基準	9	0	9	26,402	0	26,402
合計	9	2	11	26,402	3,010	29,412

整備年度別延べ床面積及び整備建物数



耐震基準：地震時に建物が安全であるために備えていなければならない構造の基準であり、建築基準法で定められています。

旧耐震基準：震度5程度の地震で倒壊しないこと

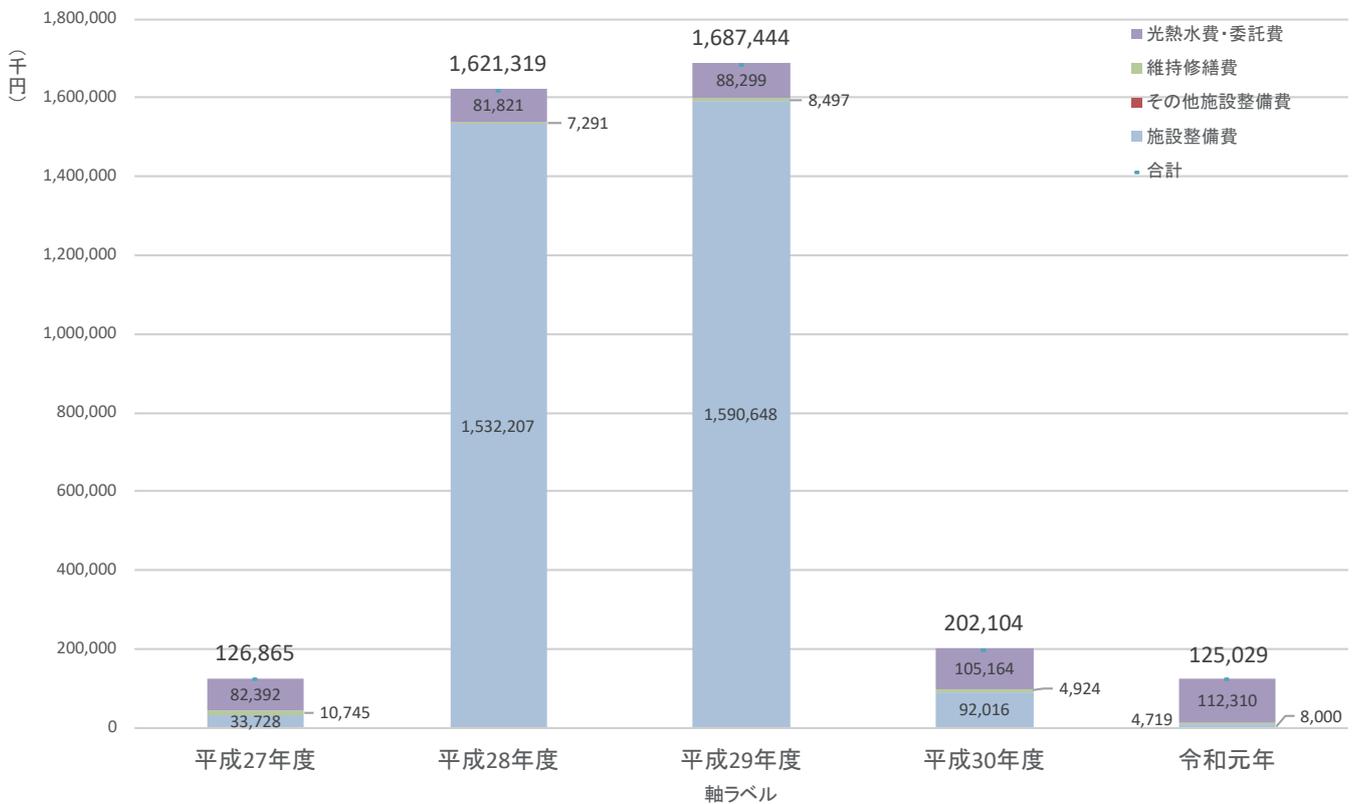
新耐震基準：震度5程度の地震ではほとんど損傷しないこと

建物の施設関連経費

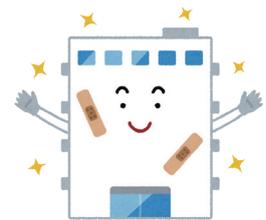
建物の施設整備費、維持修繕費、光熱水費・委託費は平成27年度までは1.2億円程度でしたが、庶路学園の新築工事の大部分を、平成28～29年に実施したため、施設関連経費が多くなり、過去5年平均で7.5億円となっています。



過去5年間の施設関連経費の推移



平成27～29年度庶路学園建設

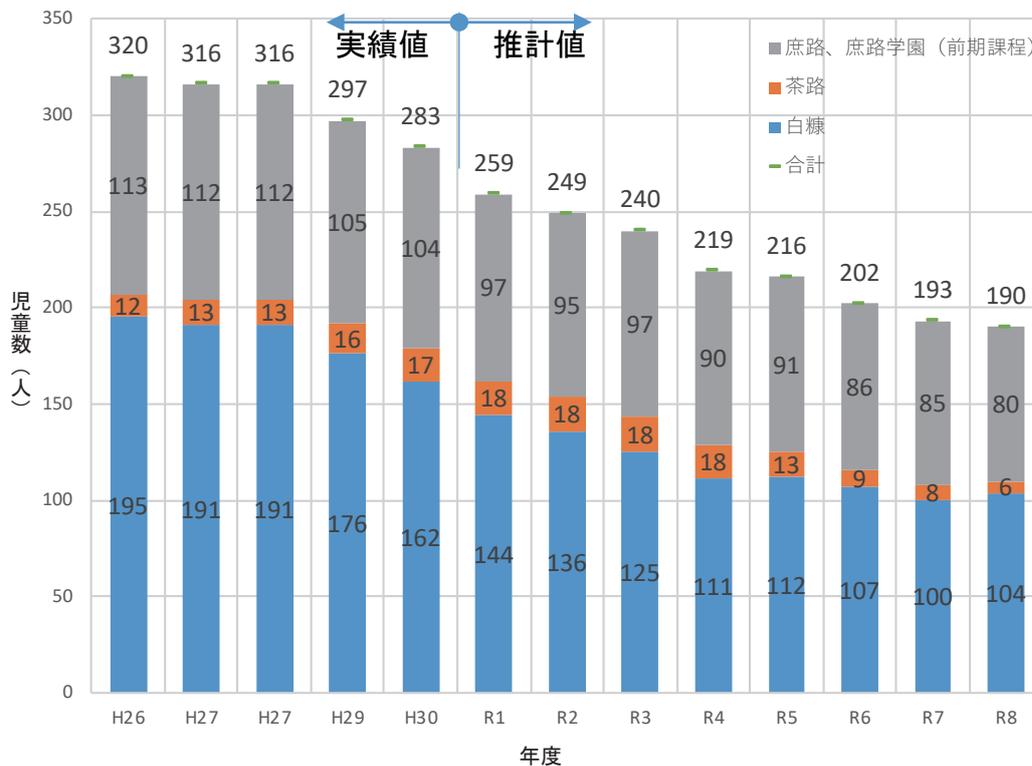


施設の利用状況：児童数、生徒数の推移

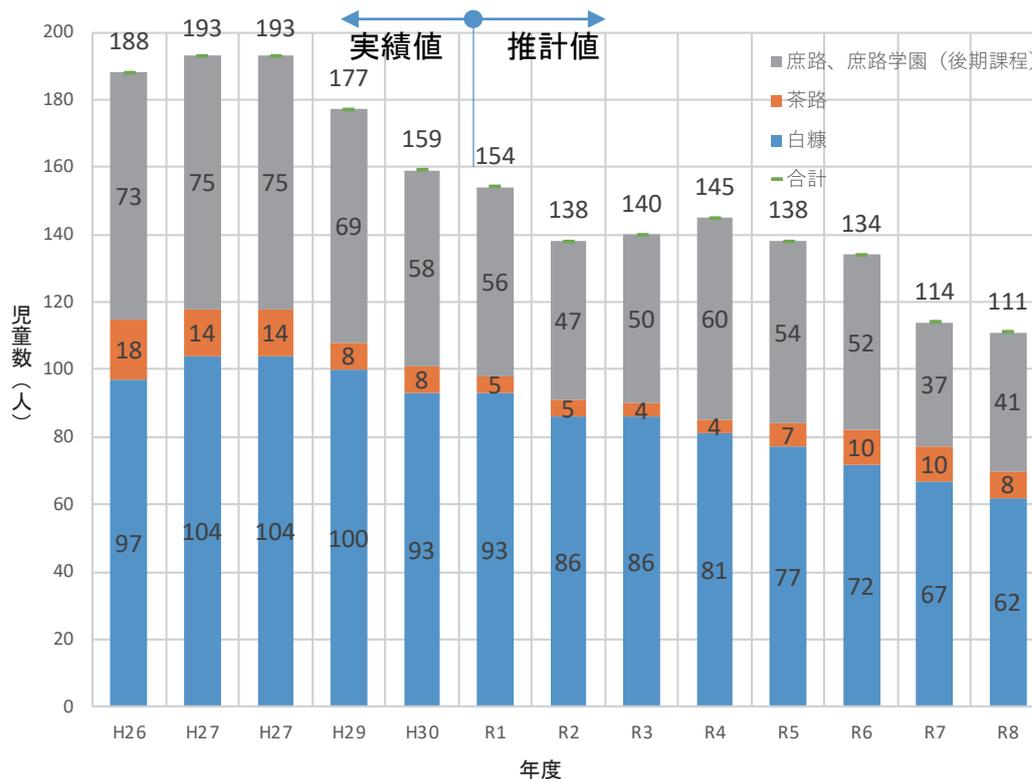
平成26年度から令和8年度間で、一時的に児童数、生徒数が増加する場合がありますが、児童数、生徒数ともに、令和8年度は平成26年度の約59%に減少する見込みです。

児童数、生徒数の推移

a. 児童数（小学校）



b. 生徒数（中学校）



施設の利用状況：町民文化系施設

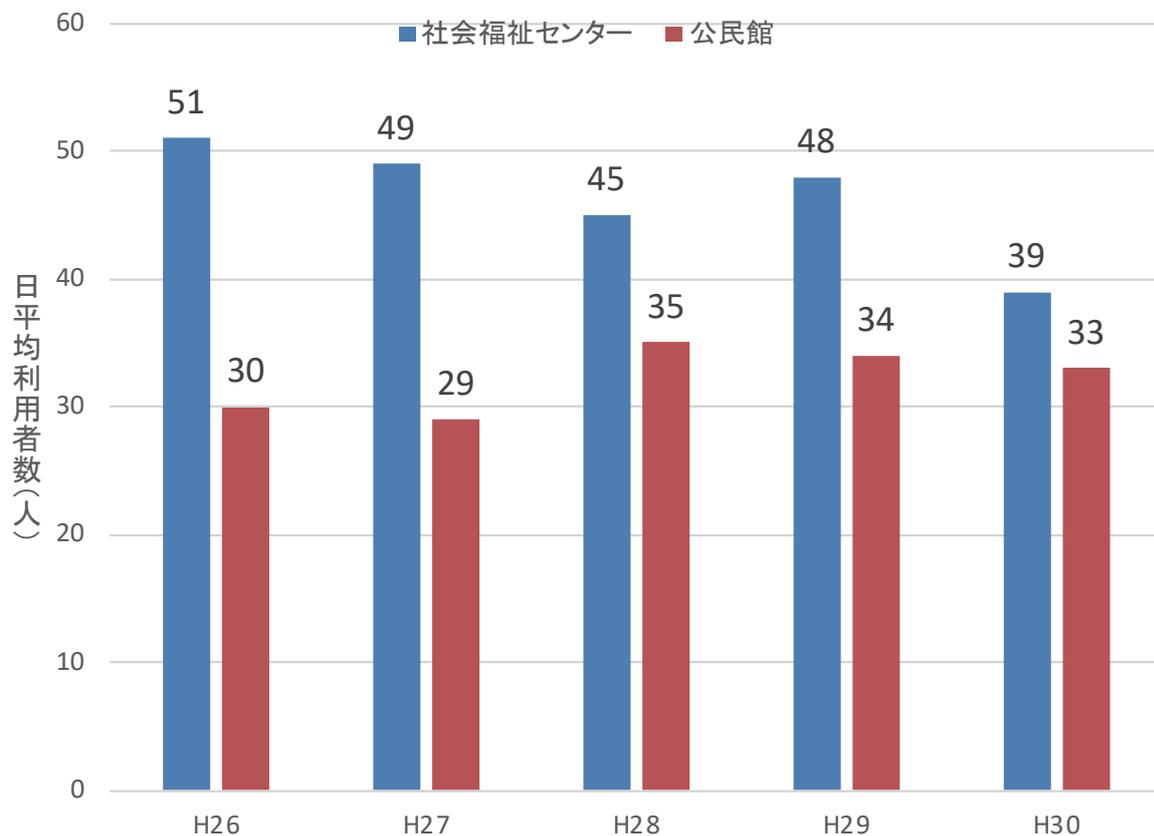
町民文化系施設の利用状況は、社会福祉センターは日平均利用者数が46人、公民館は日平均利用者数が30人となっています。

町民文化系施設の利用状況

		H26	H27	H28	H29	H30	平均	
社会福祉センター	年間利用者数	人	18,459	18,031	16,309	17,517	14,371	16,937
	日平均利用者数	人	51	49	45	48	39	46
	年間収入	円	1,033,648	1,089,104	922,333	777,203	645,042	893,466
公民館	施設年間利用者数	人	1,367	1,316	1,025	809	1,891	1,282
	図書室年間利用者数	人	9,443	9,299	9,710	9,629	10,076	9,631
	公民館年間利用者数	人	10,810	10,615	10,735	10,438	11,967	10,913
	施設日平均利用者数	人	4	4	3	2	5	4
	図書室日平均利用者数	人	26	25	27	26	28	26
	公民館日平均利用者数	人	30	29	35	34	33	30



町民文化系施設の日平均利用者数



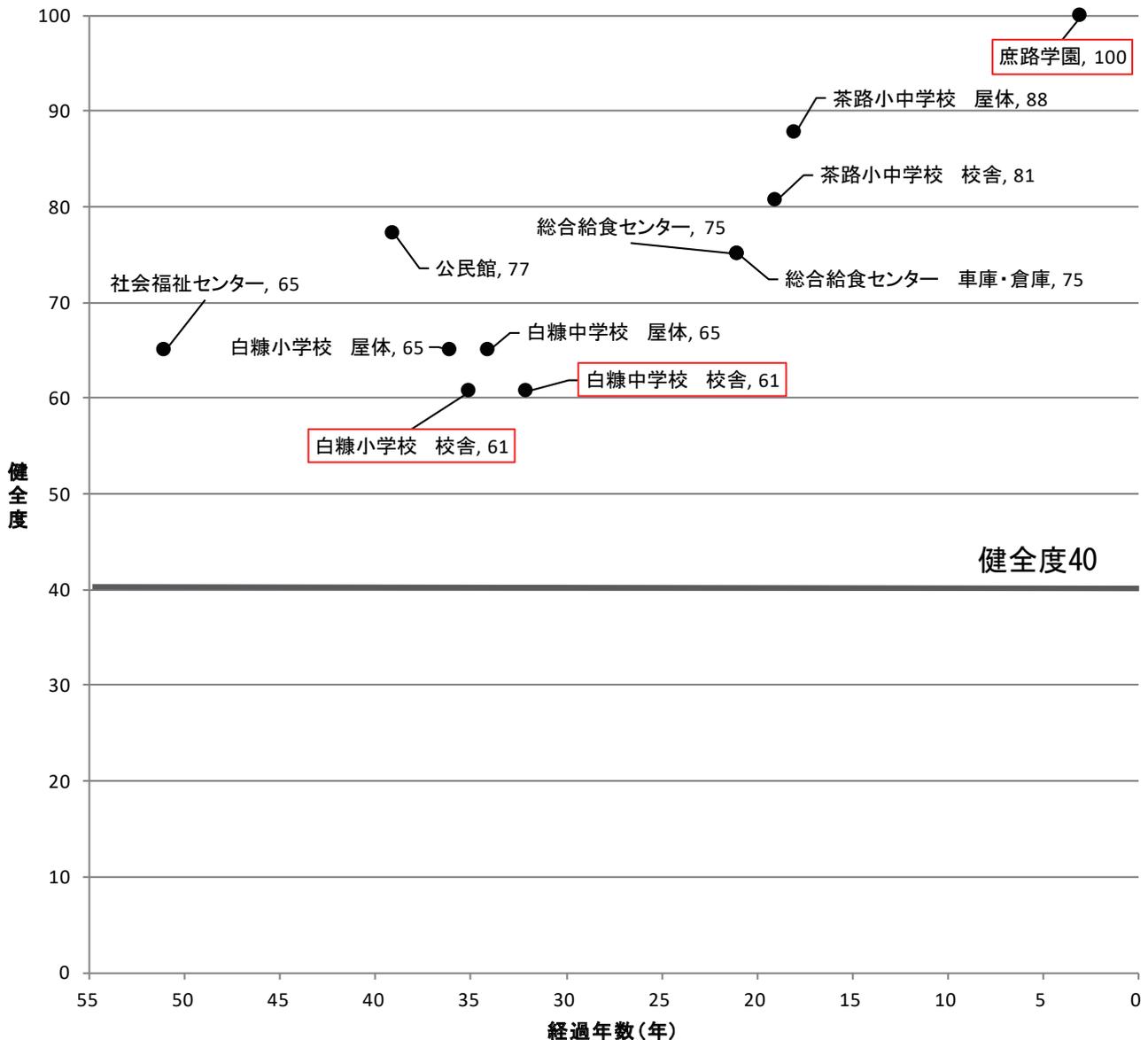
老朽化状況の実態

建物の健全性・劣化状況を把握・評価するために、現地調査を実施しました。各施設の評価項目についてその劣化度（A～Dの4段階評価）を判定し、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上げ」、「電気設備」、「機械設備」について評価を行い、総合的に施設の健全度を点数化しました。

建物健全度の最小値は、白糠小学校（校舎）、白糠中学校（校舎）の61、最大値は庶路学園の100となっており、全体的には健全な状況となっています。



健全度



建物の健全度について40未満の場合は早急に長寿命化を講じる必要があります。全ての部位がA評価の場合、健全度は100、B評価の場合、健全度は75となります。

建物調査結果一覧表

建物基本情報								構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考			
通し番号	調査番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	西暦	築年数	耐震基準	耐震診断	耐震補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	(100点満点) 健全度
1	1	白糠小学校	校舎	S	3	5,177	1985	35	新			2019	21.0	長寿命	B	C	B	B	C	61	H5 災害復旧
2	1	白糠小学校	屋体	S	2	1,213	1984	36	新			2019	21.0	長寿命	B	C	B	B	B	65	
3	2	茶路小中学校	校舎	RC	2	2,385	2001	19	新			2019	24.0	長寿命	B	C	A	A	A	81	H18 玄関ポーチ屋根改修 H28 外壁木部塗装
4	2	茶路小中学校	屋体	S	1	791	2002	18	新			2019	24.0	長寿命	C	B	A	A	A	88	
5	3	白糠中学校	校舎	S	3	4,844	1988	32	新			2019	21.0	長寿命	B	C	B	B	C	61	H4 設備配管補修 H8 相談室改修 H5、H24 災害復旧
6	3	白糠中学校	屋体	S	2	1,324	1986	34	新			2019	21.0	長寿命	B	C	B	B	B	65	
7	4	庶路学園	庶路学園	RC	3	9,140	2017	3	新			2019	27.0	長寿命	A	A	A	A	A	100	
8	5	総合給食センター	給食センター	RC	1	1,339	1999	21	新			2019	27.0	長寿命	B	B	B	B	B	75	H26 全面屋上防水改修 H30 蒸気ボイラー改修
9	5	総合給食センター	車庫・倉庫	S	1	189	1999	21	新			2019	21.0	長寿命	B	B	B	B	B	75	
10	6	社会福祉センター	社会福祉センター	RC	2	2,012	1969	51	旧	済	済	2019	18.0	長寿命	B	C	B	B	B	65	S52、54、58、H21暖房改修 H12、21、23給排水改修 H4、12屋上防水改修 H21耐震改修
11	7	公民館	公民館	RC	3	998	1981	39	旧	済	-	2019	21.0	長寿命	A	B	B	B	B	77	H2 男女WC壁改修 H3 暖房改修 H4 トランス改修 H18 外部改修 H23 屋根改修 天井塗装

■ : 築50年以上

■ : 築30年以上

改修の基本方針

■安全・防災

・白糠小学校の移転

白糠小学校については、断続的な大雨などによる茶路川氾濫時の浸水地域にあることから、災害から児童を守るため現校舎を白糠中学校に統合し、安心安全な教育環境を整備します。

・長寿命化の推進

計画的に大規模改造工事を実施し、施設の長寿命化を図ります。

・安全性に配慮した整備

施設の老朽化により生じる事故を防ぐため、「事後保全」から損傷や支障が顕在化する前に対策を講じる「予防保全」にシフトし安全性の確保に努めます。

・避難施設として整備

避難者の安全を確保するための対策や、避難生活での環境面に配慮した設備の整備など、避難所として機能する施設の整備を進めます。

■利用環境の向上

・施設機能の向上

社会福祉センター、公民館については、機能の見直しを行い施設機能とサービスのレベル向上を図ります。また、総合給食センターについては、今後の児童生徒数やニーズに応じた学校給食が提供できるよう施設機能向上を図る整備を進めます。



■複合化効率化

・白糠保育園（仮称 白糠こども園）の移転

現在、白糠小学校内に設置している白糠保育園について、白糠小学校と同様に茶路川氾濫時の浸水地域にあることから、災害から園児を守るために移転することとし、移転先については、幼保小中の連携がより一層図れるよう、白糠中学校敷地内に移転し、施設の複合化を図ります。

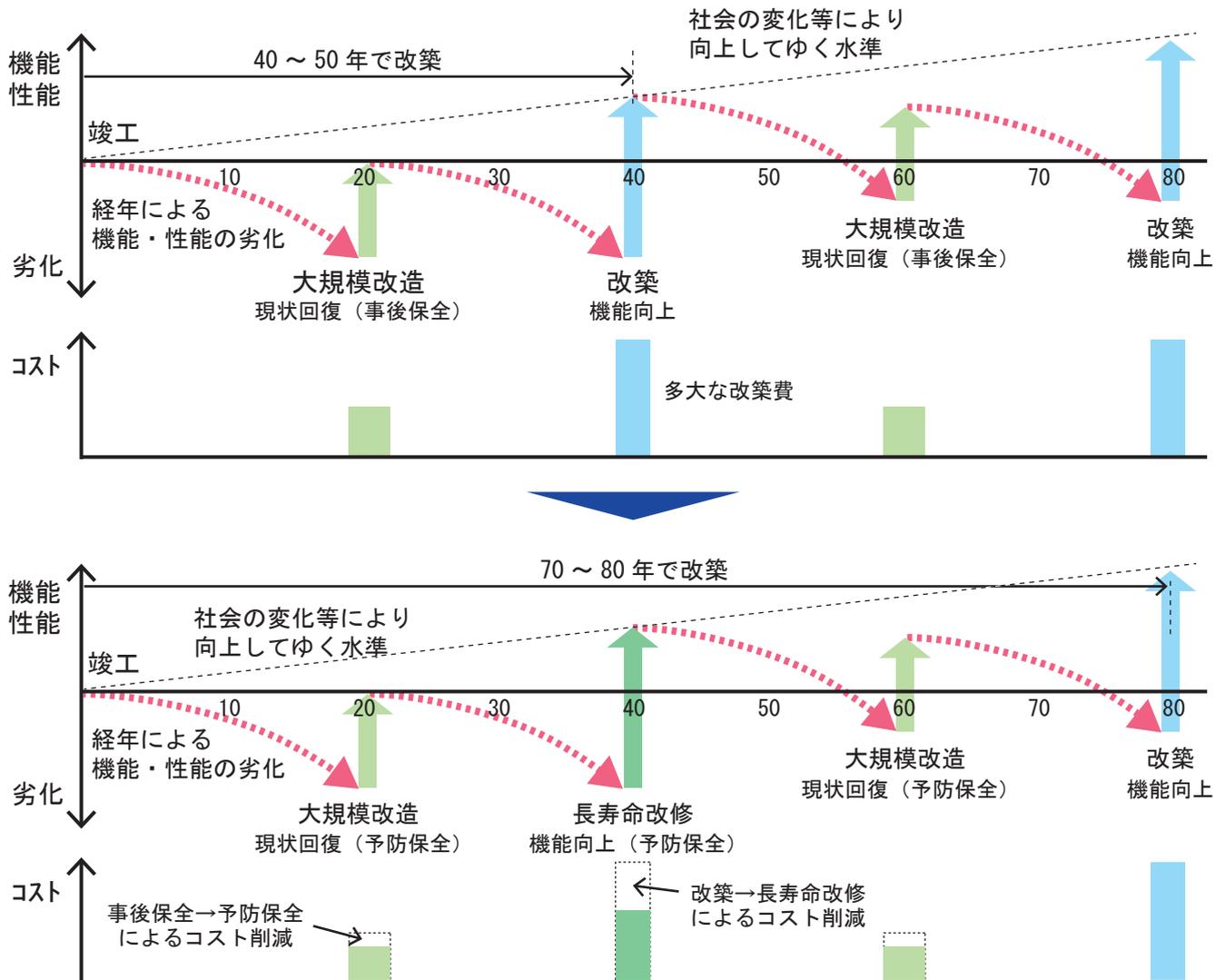
・施設の集約化

社会福祉センターと公民館の集約・複合化の検討のほか、管轄を超えた施設の見直しを検討します。

学校施設等の長寿命化計画

今後、中長期的な維持管理等に係るコストの縮減・予算の平準化を行うために、建替えから長寿命化改修に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

改築中心から長寿命化への転換イメージ



目標使用年数と改修周期

- 目標使用年数：鉄筋コンクリート造、鉄骨造 80年
- 改修周期
 - 長寿命化改修 建築後 40年で実施
 - 大規模改造 建築後 20年 60年で実施



- すでに建築後 40年を超えている建物は、今後 10年以内に長寿命改修を実施
- D 評価の部位は今後 5年以内に部位修繕を実施
- C 評価の部位は今後 10年以内に部位修繕を実施

長寿命化の実施計画と効果

■実施計画

修繕等の計画については、今後 40 年間（5 年程度を目安に見直し）の計画ですが、本長寿命化計画に記載する実施計画期間については「白糠町公共施設等総合管理計画」の終期に合わせ 6 年間とします。

白糠小学校については、令和 3 年度に白糠中学校への統合事業を実施し、統合後、使用しなくなった校舎等については、用途を廃止するものとします。

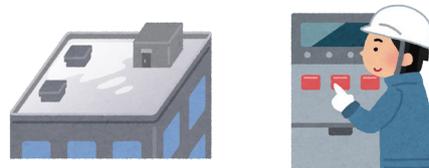
茶路小中学校については、校舎が令和 4 年 3 月、屋体が令和 5 年 3 月に築 20 年を経過することから、令和 4 年度から順次、大規模改造を進めます。

社会福祉センターについては、令和 4 年 12 月の屋上防水工事の改修から 20 年を迎えますが、施工から 18 ～ 20 年が改修適期とされていることから、今後、屋上防水工事の検討を進めます。

また、老朽化等により利用者から改修要望が寄せられている大ホール（大会議場）についても、改修の検討を進めます。

公民館については、平成 8 年の内部改修工事から 23 年が経過しており、今後、外部鉄部塗装の補修、暖房設備及び給排水設備改修の検討を進めます。

総合給食センターの、冷温水発生機については、令和 2 年度に更新する予定です。今後、配管等の腐食が進行する可能性が高い部分については、計画的に部位修繕を行うこととします。

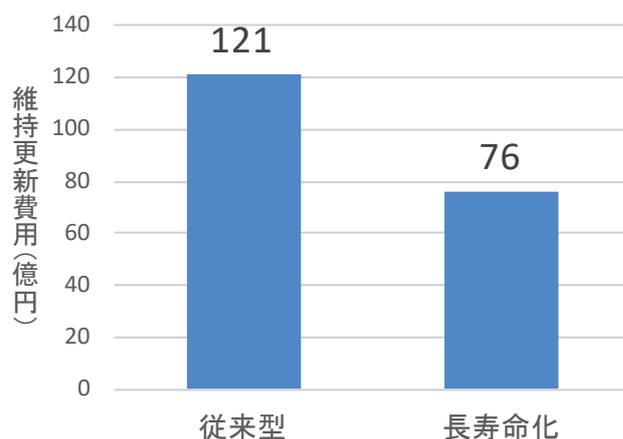


■効果

長寿命化を行った場合の維持更新費用は、40 年間で 76 億円となり従来型に比べて 45 億円の削減が見込まれます。また直近の 10 年間では 38 億円削減でき、維持更新費用の平準化が図れます。

維持更新費用

	40 年間の総額	年平均
過去 5 年		7.5 億円/年
従来型	121 億円 (1.00)	3.0 億円/年
長寿命化	76 億円 (0.63)	1.9 億円/年



※（ ）内は従来型を 1.00 とした指数

今後6年間の整備内容

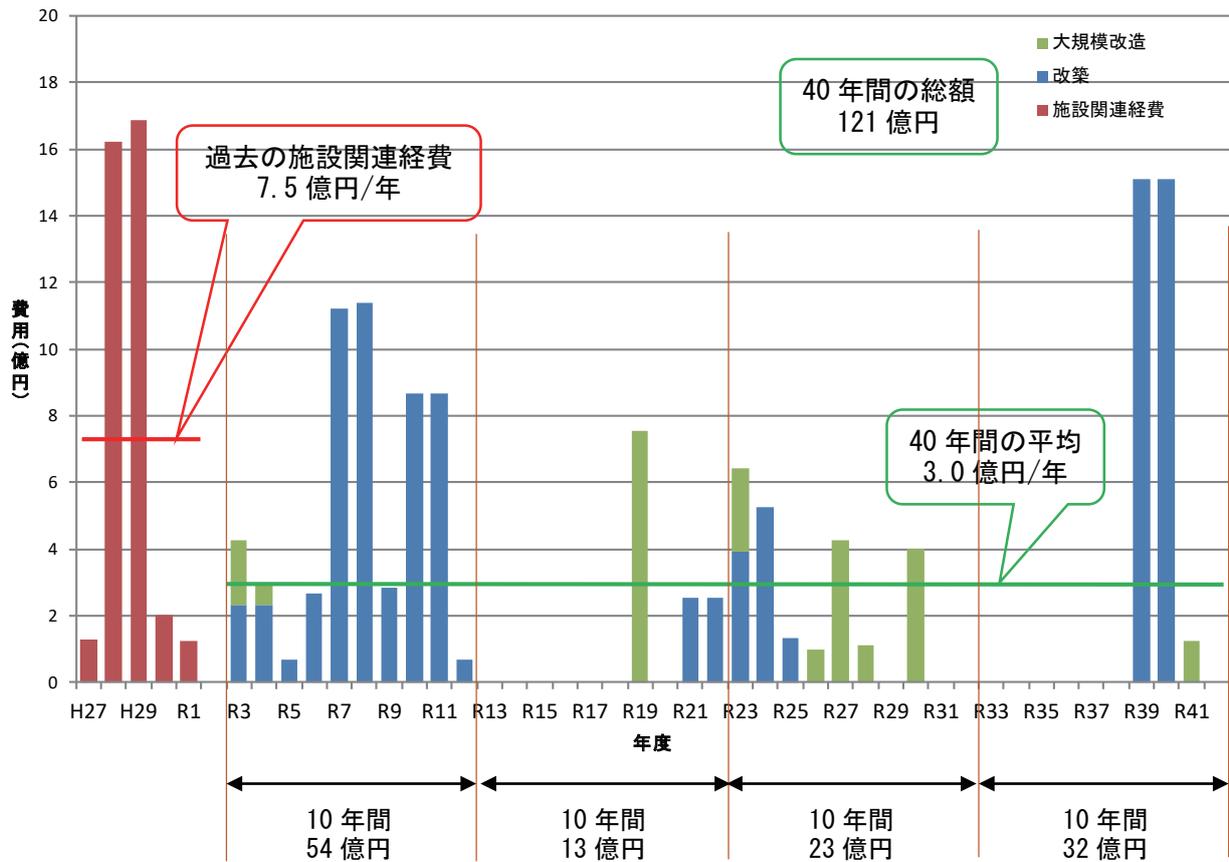
これから6か年の整備計画は下表のとおりです。緊急に修繕が必要な部分の補修や長寿命化改修、大規模改造、計画的な床や外部のシーリングなどの部位修繕を実施します。



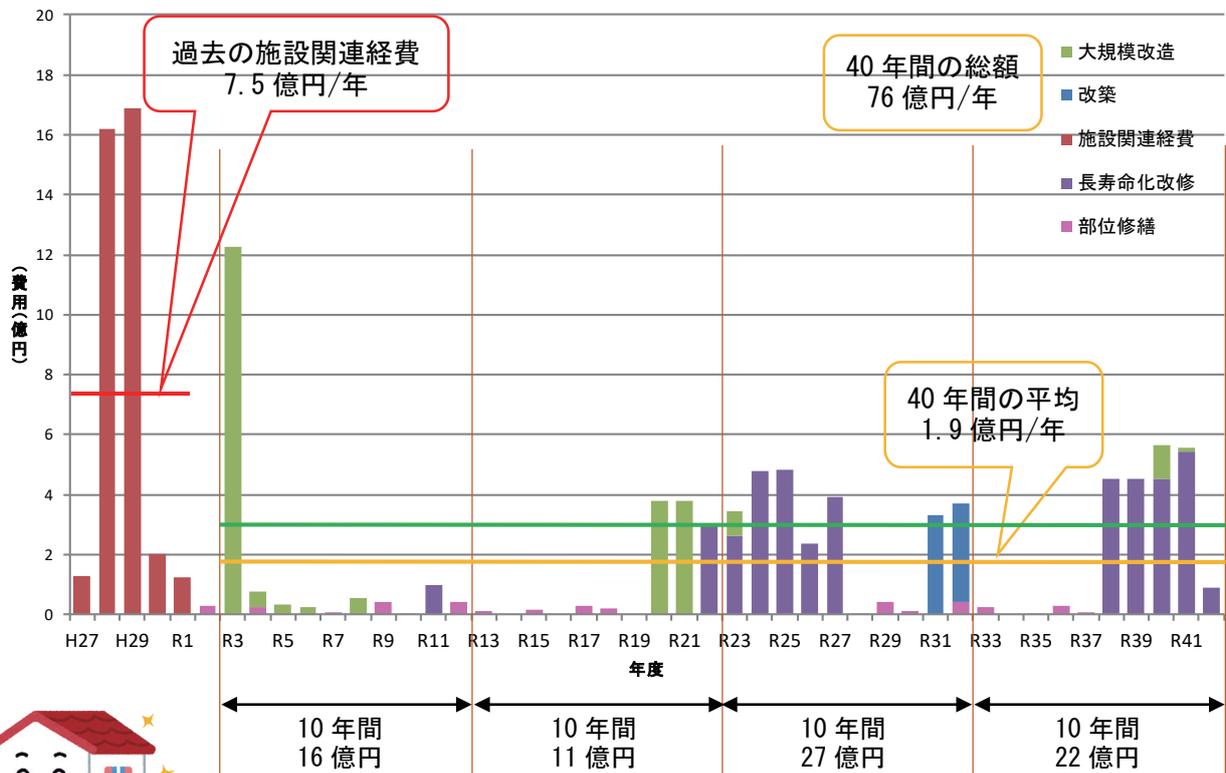
施設名	建設年度	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)
	構造	工事内容	工事内容	工事内容	工事内容	工事内容	工事内容
白糠小学校 (校舎)	S60			白糠中学校へ校舎統合により用途廃止			
	S造						
	経過年数	35年	36年				
白糠小学校 (屋体)	S59			白糠中学校へ校舎統合により用途廃止			
	S造						
	経過年数	36年	37年				
茶路小中学校 (校舎)		部位修繕		大規模改造 (改正 長寿命化) 屋根葺替え 屋上防水改修 外壁補修 外部シーリング		大規模改造 (質的整備) 暖房設備改修	
	H13	玄関前屋根補修					
	RC造						
	経過年数	19年	20年				
茶路小中学校 (屋体)			部位修繕 (計画修繕)	大規模改造 (改正 長寿命化) 屋根葺替え 外壁補修 外部シーリング		大規模改造 (質的整備) 暖房設備改修	
	H14		床塗装				
	S造						
経過年数	18年	19年	20年	21年	22年	23年	
白糠中学校 (校舎) H4～ 義務教育学校 (校舎)			大規模改造 (老朽ほか)	屋上防水改修 シーリング 打替え 外壁・内装補修暖房・照明設備改修			
	S63						
	S造						
経過年数	32年	33年	34年	35年	36年	37年	
白糠中学校 (屋体) H4～ 義務教育学校 (屋体)			大規模改造 (老朽ほか)	屋上防水改修 シーリング 打替え 外壁・内装補修暖房・照明設備改修			
	S61						
	S造						
経過年数	34年	35年	36年	37年	38年	39年	
庶路学園					部位修繕 (計画修繕)		
	H29				床塗装(屋体)		
	RC造						
経過年数	3年	4年	5年	6年	7年	8年	
総合給食センター		部位修繕	部位修繕	部位修繕			部位修繕
	H11	冷温水発生機整備、搬入口シャッター改修、調理場床抗菌塗装、給配水設備改修、廃水処理施設配管、ポンプ改修	給配水設備改修 廃水処理設備修繕 非常用バッテリー取替	外壁塗装補修			
	RC造						
経過年数	21年	22年	23年	24年	25年	26年	
総合給食センター (車庫、倉庫)	H11 S造						
経過年数	21年	22年	23年	24年	25年	26年	
社会福祉センター				部位修繕			
	S44			屋上防水補修			
	RC造						
経過年数	51年	52年	53年	54年	55年	56年	
公民館				部位修繕			
	S56			外部非常階段補修			
	RC造						
経過年数	39年	40年	41年	42年	43年	44年	

従来型改修と長寿命型改修の比較

従来型



長寿命化型



従来型 : 40年で建物を更新する従来型の修繕・改修を行うこと。

長寿命化型 : 計画的に機能向上・回復を行い、建物を長く使用できるようにすること。

継続的な運用方法

■推進体制の整備

教育委員会が中心となり、上位計画である公共施設等総合管理計画との整合性や施設管理に係る技術的サポートの面などから、関連部署である企画財政課や建設課と連携を図りながら取り組んでいきます。

また、学校施設等の維持管理については、管理課、社会教育課による日常点検や管理業務委託による各種点検調査報告書を活用して、不具合箇所の早期把握と修繕対応を図っていきます。



■情報基盤の整備と活用

町民と行政が問題意識を共有し、将来のあるべき姿について幅広い議論を進めるために、施設に関する情報や評価結果を積極的に開示します。

また、町民からの様々な意見を収集・整理して公共施設等マネジメントに生かす仕組みについても検討を進めます。

施設基本情報、工事履歴、劣化情報等のデータベース化を図ります。

データは施設情報に変更が生じた場合や改修などが行われた場合に適宜更新するほかに、毎年度更新の有無を含め内容を確認します。

■フォローアップ

公共施設等に対し、日常の運営や維持業務を行う「運営・維持」を実施します。「プロジェクトマネジメント」を実施した公共施設等に対しても、その後は日常の運営や維持業務を行う「運営・維持」の実施を行います。「運営・維持」の対象である公共施設等に対し、数量（供給）、品質、コスト（財務）の面から「評価」を実施します。これらの業務を遂行する核として「統括管理」を推進します。

本計画は、40年間の長期の計画であり、点検・評価結果に加えて、学校教育を取り巻く情勢変化を踏まえて5年程度を目安に随時見直しを行います。

